

平成 20 年度 (社) 奈良県臨床衛生検査技師会 第 1 回総会議事録

開催日時 : 平成 20 年 5 月 18 日 (日) 13 時 45 分から 14 時 45 分まで
場 所 : 奈良県立医科大学 厳櫃会館 3 階研修室
会 員 数 : 531 名 (5 月 18 日現在)
出 席 者 : 338 名 (当日出席者 71 名、委任状による出席者 267 名)
欠 席 者 : 193 名

I 仮議長挨拶

林田事務局長から議長選出が完了するまで仮議長を担当する旨、挨拶があった。

II 開会の辞

宗川副会長が、平成 20 年度社団法人奈良県臨床衛生検査技師会第 1 回総会を開催する旨、宣告した。

III 会長挨拶

山本会長から、学会に引き続いての総会出席に対するお礼と、新役員による技師会運営への協力要請があった。また、役員改選後に行われた県の人事異動により役員が一施設に集中し地区別の役員数にも偏りが生じたため、役員推薦委員会から南部地区会員である倉本智津子氏 (県立医科大学附属病院) の推薦を戴き理事会承認としたこと、さらに保留であった外部監事について奈良県栄養士会の溝口裕子氏に決定した旨、報告と紹介があった。

IV 来賓紹介

仮議長から当会顧問の岡本康之先生 (県立医科大学附属病院)、松尾収二先生 (天理よろづ相談所病院)、および名誉会員の山中亨会員、山名正夫会員の紹介と出席のお礼が述べられた。

V 来賓挨拶

来賓を代表して顧問の岡本康之先生から挨拶があった。技師の領域が広がり測定だけに留まらず患者様に対して説明が求められる方向に進んでいるように思う。医療の効率化、質の向上に技師の役割がさらに大きくなることをふまえた技師会のサポートが必要であるとの激励があった。

VI 議長選出

仮議長から議長候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、仮議長が浦雅彦 (近畿大学奈良病院)、猪田 猛久 (天理よろづ相談所病院) の 2 氏を提案、過半数を超える拍手多数で承認され、議長就任の挨拶の後、議事に入った。

VII 議事

1. 総会役員を選出

議長から総会役員候補について出席者に自薦、他薦を求めるも無く、事務局から下記の役員について提案があり、過半数を超える拍手多数を持って承認された。

〔議事運営委員（兼資格審査委員）〕

枅尾 茂（県立三室病院）、辻野 秀夫（県立奈良病院）

中森 善裕（奈良社会保険病院）、中川 沙織（しみず小児科）

〔書記〕

新木 義之（県立奈良医大病院）、中村 純造（奈良社会保険病院）

〔議事録署名人〕

田中 恵美（済生会御所病院）、井田 淳（平井病院）

2. 総会成立の宣言

枅尾茂資格審査委員長から、平成 20 年 5 月 18 日現在の正会員数 531 名に対し、本日の出席者 71 名、委任状出席者 267 名、合計 338 名と過半数に達していることから、総会が成立するとの宣言があった。

3. 議案審議

審議前に議長から資料の訂正および追加の要請があり、林田事務局長から厚生労働大臣表彰者に前川芳明氏が追加された。

1) 第 1 号議案：平成 19 年度事業経過報告

議長から、平成 19 年度事業報告について、一括報告後に承認を求めるとの説明後、下記の担当理事から議案書に基づき説明があった。

(1) 総括 山本会長。

前役員に対し平成 19 年度事業を計画、執行していたがいたことに対しお礼が述べられ、それら事業を新役員が報告する旨、説明があった。

(2) 事務局総務部：林田理事

議案書に基づき要旨を説明があり、平成 19 年度は 18 年度に引継ぎ同じ役員で構成されたため会の運営がスムーズに執行できたこと。また市村輝義（天理医学技術学校）、前川芳明（天理よろづ相談所病院）の 2 名が厚生労働大臣表彰を受けたことを改めて紹介があった。また、平成 19 年度は自然災害が多く能登半島沖地震（石川県）、中越沖地震（新潟県）に対し会員からの義援金を両県に送った旨の説明があり、協力に対し謝辞があった。

(3) 事務局経理部：藤本理事

議案書に基づき要旨の説明があり、補足として、義援金に対してのお礼が述べられた。

(4) 学術部：梅木理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

(5) 渉外部：長谷川理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

(6) 地域保険事業部：安田理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

(7) 組織法規部：延命理事

議案書に基づき要旨の説明が合った。追加事項特になし。

(8) 福利厚生部：橋詰理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

(9) 広報部：倉本理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

(10) 地区担当部：松本理事

議案書に基づき要旨の説明があった。追加事項特になし。

以上、各部局の事業経過について説明を受けたのち、議長から第 1 号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

2) 第 2 号議案：平成 19 年度決算報告について

平成 19 年度決算報告：藤本理事

議案書に基づき当日資料で決算報告の説明があった。追加事項特になし。以上、平成 19 年度決算報告について説明を受けたのち、議長から第 2 号議案について質問、意見を求めたところ、雑収入での公益事業費の入金について、日臨技共催公益事業の共催基準とその共催金額について説明が求められた。事務局より、広く県民を対象とした公益性の高い事業について、公益事業審査申請書および予算書を事業 2 ヶ月前に提出し審査を受ける。共催費については、事業報告を終了後 2 週間以内に報告書および決算書を提出し、様々な基準はあるがおよそ事業費は日臨技と折半になる。また、同じく日臨技での決済について質問があり、公益事業共催費は日臨技で決算報告されているとの説明があった。

第 2 号議案について他に対し質問、意見を求めたところ、質問は無く、議長は拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

第 3 号議案：平成 19 年度監査報告について。

当日資料：船内監事

別紙資料に基づき監査報告があった。なお、追加事項として次年度への繰越金が多いことについて指摘があり、今後改善すべきとの意見があった。

議長から第3号議案について質問、意見を求めたところ、質問は無く、拍手による承認を求め、過半数を超える拍手多数を持って承認された旨、宣告した。

第4号議案：一般提出議題

総会10日前までに事務局に届いた一般提出議題はなしと、報告したが、会場の出席者に緊急動議の有無を確認するもなく、一般提出議題はなしと宣告した。

その他、質問等はなく、議長からこれを以って本日の審議事項はすべて終了したことが宣告された。

VII 総会役員及び書記の解任

議長から資格審査委員（兼議事運営委員）および書記を解任する旨の通告と、協力への謝意の言葉が述べられた。

VIII 議長挨拶

議長から議事進行の協力に対して謝辞が述べられた後、自らを解任する旨宣告した。

X 閉会の辞

今田副会長から学会に引継ぎ総会へ出席していただいたことにお礼が述べられた。また平成22年度に開催される近畿医学検査学会が奈良県担当であることの報告と会員各位の協力要請があり、その後、社団法人奈良県臨床衛生検査技師会平成20年度第1回総会の閉会宣告が行われた。

以上、式次第はすべて終了し解散した。

平成20年5月18日

社 団 法 人 奈良県臨床衛生検査技師会
議 長 浦 雅彦 印

議 長 猪田 猛久 印

議 事 録 署 名 人 田中 恵美 印

議 事 録 署 名 人 井田 淳 印